

＝プレスリリース＝

平成26年6月25日

岩手県内企業設備投資計画
アンケート調査結果の概要
—平成26年度—

標記について、概要を取りまとめましたので公表いたします。
なお、詳細は機関誌「岩手経済研究」26年7月号に掲載予定です。

盛岡市中ノ橋通1丁目2番16号

岩手銀行中ノ橋支店3階
一般財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕

(担当 地域経済調査部 岩渕啓一)

TEL 019-622-1212

岩手経済研究所

〈 調 査 結 果 の 要 約 〉

1. 平成26年度設備投資計画額 ～二桁の大幅な増加～

平成26年度の設備投資計画額（工事ベース）は、9,342百万円と前年度実績額に比べ22.2%増加する見通しとなった（図表1）。

製造業、非製造業とも二桁の伸びとなっており、復興需要や景気の持ち直しなどを追い風に、これまで抑制傾向にあった投資姿勢が前向きな姿勢に転じつつあることがうかがわれる。

なお、半期ベースでは、上期は前年同期比58.5%増と積極的な投資計画で大幅に伸びるが、下期は未定としている企業も多く同1.5%減の見通しとなっている。

図表1 設備投資実績と計画（工事ベース）

業種	年度	25年度実績額				26年度計画額					
	24年度実績額	上期		下期		上期		下期		合計	
	合計	前年比	合計	前年比	合計	前年比	合計	前年比	合計	前年比	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
全 産 業	7,764	3,012	4,635	7,647	△ 1.5	4,775	58.5	4,567	△ 1.5	9,342	22.2
製 造 業	3,371	1,016	1,952	2,968	△ 11.9	1,763	73.5	1,707	△ 12.6	3,470	16.9
非 製 造 業	4,393	1,996	2,683	4,679	6.5	3,012	50.9	2,860	6.6	5,872	25.5

（注）前年比は前年同期比増減率

2. 設備投資の目的 ～「設備更新」が7割超～

「設備更新」が最も多く、次いで「販売促進」「省力化・合理化」となった。前回調査との比較では、これまで厳しい経営環境から抑制傾向にあった「技術革新」への投資が高まっている。

3. 設備投資の内容 ～「機械・装置」が最多～

「機械・装置」が最も多く、以下「車両」「建物増改築」と続いた。前回調査との比較では「機械・装置」「車両」などが増加し、「機械・装置」では生産用機械やコンピュータなどの更新が目立っている。

4. 資金調達の方法 ～「自己資金」が増加～

「自己資金」が最も多く、以下「金融機関借入（以下、借入）」「親会社・関連会社」「その他」「リース」の順となった。前回調査との比較では、手元の資金繰りが改善するなど「自己資金」が増加し、「借入」が減少している。

< 調査要領 >

1. 調査時期

平成26年4月中旬

2. 調査対象企業

岩手県内企業 350社

3. 回答企業

製造業	51社
建設業	24社
卸売業	41社
小売業	27社
運輸業	7社
サービス業	20社
合計 (回収率)	170社 (48.6%)

4. 設備投資の算出基準

原則として、設備の建設・導入に応じて一定期間の工事の進行額でとらえた「工事ベース」を基準とした。